

3-6 1988年10月28日の千葉県東方沖（勝浦付近）の地震活動

Seismic Activity off the East Coast of Chiba Prefecture (near Katsuura)
of October 28, 1988

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

千葉県東方沖（勝浦付近）で1988年10月28日15時13分頃、M5.1の地震が発生した。震源要素は $35^{\circ}07'N \cdot 140^{\circ}16'E$ ・深さ77km（暫定）、最大震度は3（千葉・横浜・勝浦）、最大有感距離は約230km（白河）であった。この震度分布を第1図に示す。

メカニズムは第2図の①に示すとおりで、ほぼ東西圧縮の逆断層型である。②はこの付近で最近発生したほぼ同じ深さ（80km）とマグニチュード（M5.6）の地震についてのものである（西落ちの縦ずれ）。位置については第3図の①参照（mを付した地震）。これは1980年3月12日12時21分に発生したもので、参考のため示した。

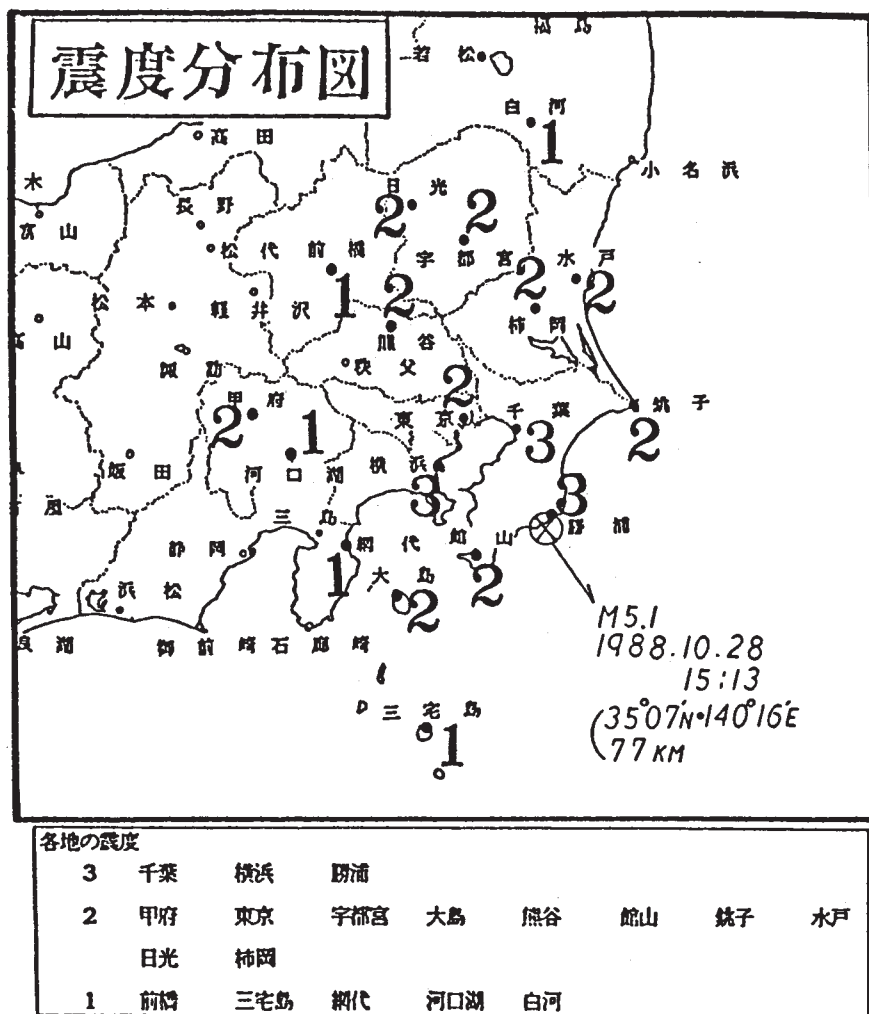
この地震の余震活動はきわめて低調で、11月16日09時00分までに2個の余震が震源決定されたにすぎない（10月29日・M3.1, 11月4日・M2.6）。

周辺域における過去の主な地震活動（M5.0以上）の状況を第3図に示す。①は震央分布であり、②と③はこれに対応する時空間分布とM-T図（①の長方形で示した範囲）。図の D_1 と D_2 は被害地震であるが、この概要は左下段に示してある。期間は1926年1月1日00時00分～1988年10月28日24時00分までである。このRegionでの活動のレベルは1950年代が最も高く、これ以前と以後の各年代では大きな差はない。なお、範囲を今回の地震のごく付近（半径10km程度の円内）に限って見ると、ここでは1950年9月10日のM6.3以降、M5.0以上の地震発生はない。

注1：昭和63年6月1日からの資料は暫定である。

千葉県東方沖の地震 (勝浦付近)

1988.10.28.15:13, M5.1

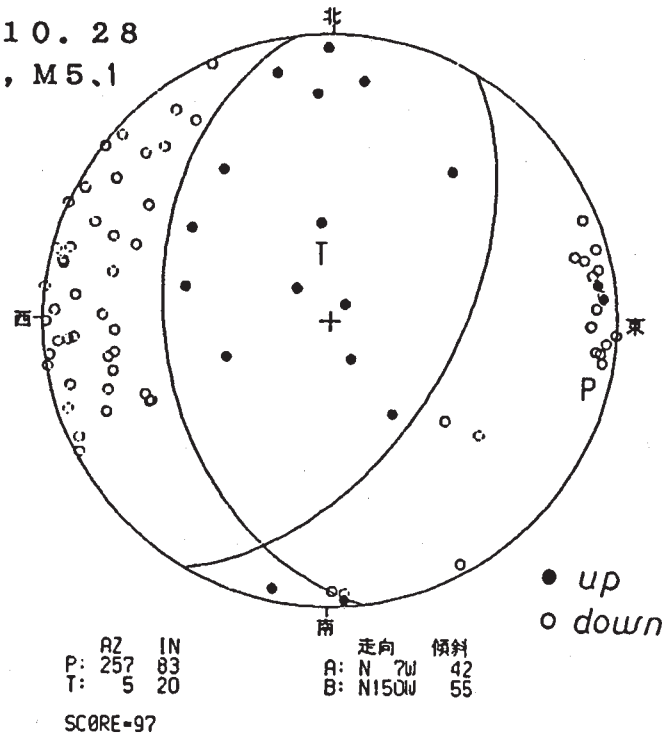


第1図 千葉県東方沖（勝浦付近）の地震の震度分布（1988年10月28日：M5.1）

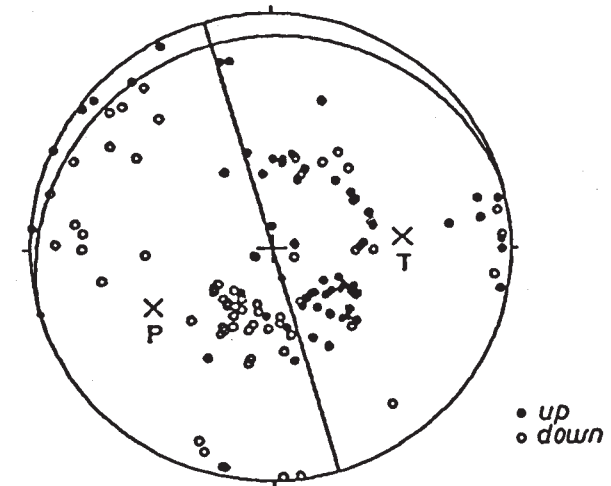
Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake off the east coast of Chiba Prefecture (near Katsuura), October 28, 1988 (M5.1).

(メカニズム解
上半球投影)

① 1988. 10. 28
15:13, M5.1



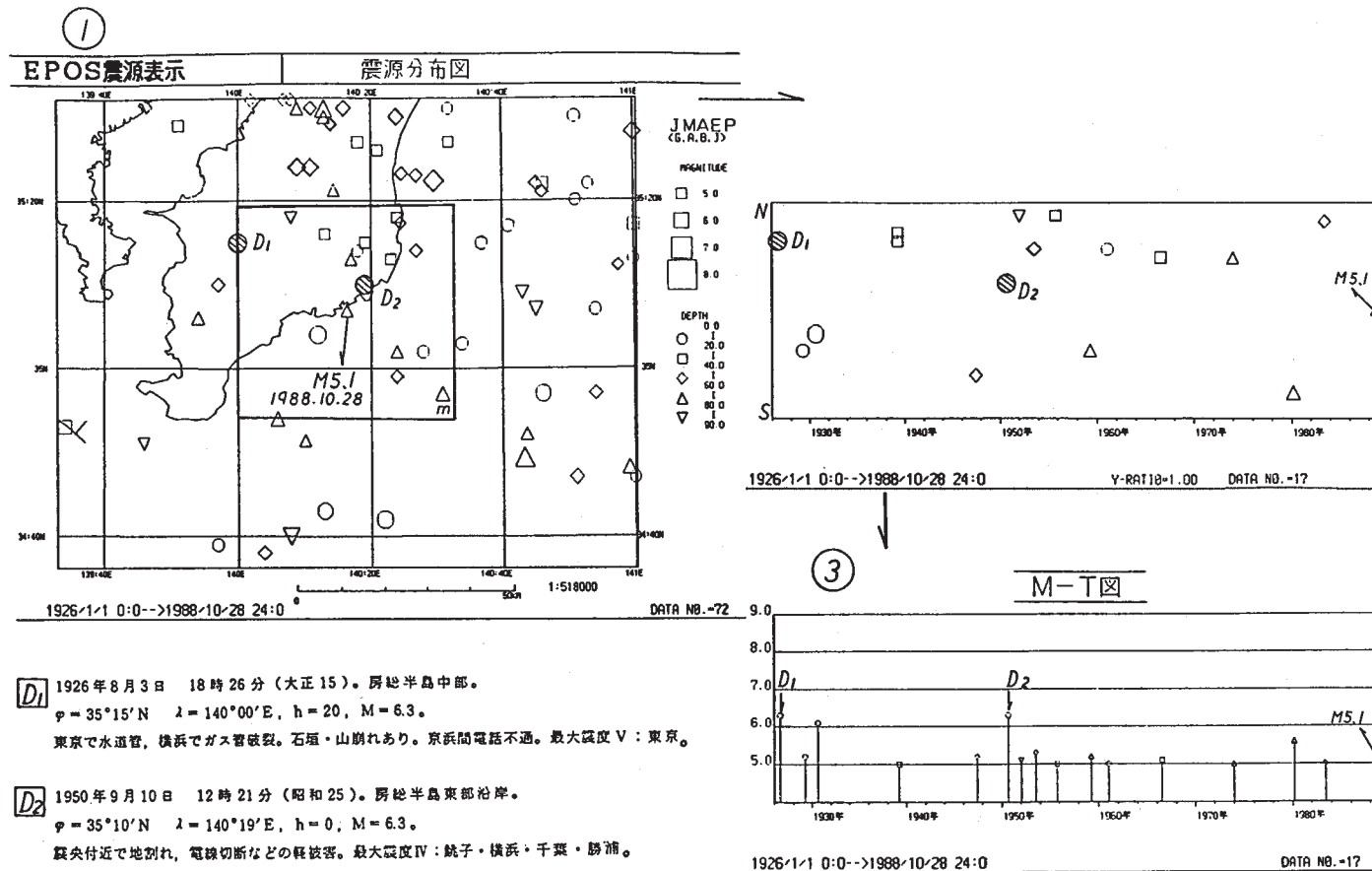
② m
 12 MAR 1980 12:21
 LO=140 31 LA=34 57 D= 80 M=5.6
 S OFF KANTO



第2図 地震のメカニズム解 (上半球投影)

●: 押し, ○: 引き ①: 1988年10月28日 (M5.1),
 ②: 1980年3月12日 (M5.6)・震央は第3図①のm

Fig. 2 Focal mechanism solutions. (Projected on the upper hemisphere).
 ●: up, ○: down. ①: October 28, 1988 (M5.1), ②: March 12, 1980 (M5.6), (indicated by 'm' in Fig. 3-①).



(気象庁のほか東京大学・名古屋大学・国立防災科学技術センターのデータ使用)

第3図 千葉県東方沖(勝浦付近)の地震活動(1926年1月1日～1988年10月28日：M5.0以上)

①：震央分布図，②：時空間分布，③：M-T図

Fig. 3 Seismic activity off the east coast of Chiba Pref. (near Katsuura), January 1, 1926 - October 28, 1988 ($M \geq 5.0$).

①: Epicentral distribution, ②: Space-time plot, ③: M-T diagram.